

あなたの町の人工林資源の将来をシミュレーションできます

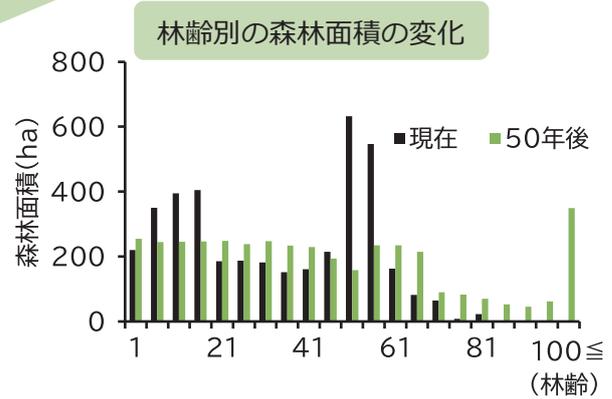
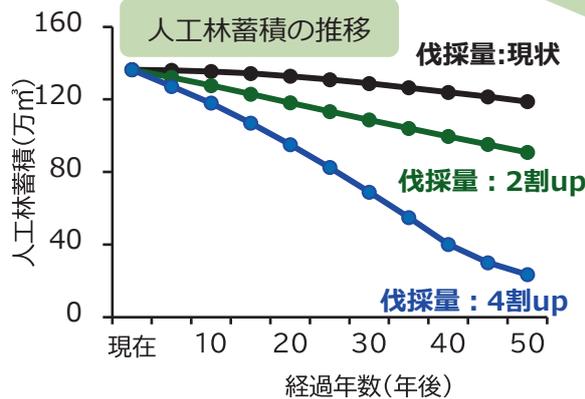
## 市町村で使える人工林の資源予測ツールの開発

課題名(研究期間) 市町村における人工林資源持続可能性評価ツールの開発(2021~2023年度)

### ①シミュレーション条件を入力

①対象市町村・樹種		地域や樹種、伐採や 再造林の条件を入力	②計算対象の森林面積		「個別集計した数値」は こちらに入力	③伐採材積の設定		所有する森林の 資源量を入力	表	
振興局 市町村	対象樹種		年齢別森林面積	施業可能面積率		伐採量の入力方法	間伐ノ主伐の材積比率		間伐ノ主伐の材積比率	間伐ノ主伐の材積比率
	トドマツ		森林調査簿の数値	100%	期間一律	間伐と主伐は同程度で			13	
									14	
									15	
									16	
									17	
									18	
									19	
									20	
									21	
									22	
									23	
									24	

### ②結果を出力



入力条件に応じた蓄積・森林面積の将来を見える化できます

成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■カラマツ及びトドマツ人工林を対象に、伐採時期や人工林の成長量を市町村別に明らかにすることで、市町村単位での人工林資源の将来予測を行えるツールを開発しました。</li> <li>■本ツールに年間の伐採材積、植林面積、植林本数等をシナリオとして入力することで、様々なシナリオに対応した人工林資源量の推移を見える化できます。</li> <li>■市町村以外の方も、所有する森林の面積や蓄積を入力すれば、人工林資源の将来を同じように予測できます。</li> </ul>
成果の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人工林の資源管理に関する森林組合等への研修や実務で利用されています。</li> </ul>
成果の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度 森林施業プランナー研修(北海道森林組合連合会主催)</li> </ul>
研究担当	林業試験場 森林経営部経営グループ
連携機関	北海道水産林務部林務局森林計画課
特記事項	
備考	どなたでもご利用いただけます(お問い合わせ先:みどりの相談 forestry@hro.or.jp)